

報道関係者各位

2007年 10月 10日

(株)タカラトミー、(株)竜の子プロダクション、「オリジナルコンテンツの創造と育成」でシナジー効果を発揮

人気タツノコアニメ「ヤッターマン」のコンテンツ事業拡大のご案内

誕生30周年「タイムボカンシリーズ ヤッターマン」が遂に、待望の新規映像化！

アニメ「ヤッターマン」 2008年1月より、読売テレビ・日本テレビ系列全国29局ネットにて放送開始

タカラトミーグループ全体で、玩具と玩具周辺事業を大規模に展開

株式会社タカラトミー

2008年1月より、毎週月曜夜7時、読売テレビ・日本テレビ系列全国29局ネットにて、1970年代後半の国民的人気アニメ「タイムボカンシリーズ ヤッターマン」をリメイクした、アニメ「ヤッターマン」の放送を開始いたします。アニメ「ヤッターマン」の放送開始に伴い、株式会社タカラトミー（代表取締役社長：富山幹太郎/以下タカラトミー）は、玩具や玩具周辺事業におけるマスターライセンスとして、玩具を中心に、ガチャ、ぬいぐるみ、玩菓、文具、アパレル、雑貨など幅広い商品開発やコンテンツビジネスを展開し、タカラトミーグループ全体で年間市場規模100億円を目指します。

タカラトミーは、2005年6月に、株式会社竜の子プロダクション(代表取締役社長：成嶋弘毅/以下タツノコプロ)の株式を取得し、子会社化しました。タツノコプロは、40年以上の歴史を有し、『科学忍者隊ガッチャマン』、『新造人間キャシャーン』、『マッハGoGoGo』など日本を代表し、世界に通用する優良なコンテンツを数多く所有しています。タツノコプロを子会社化することで、戦略事業の源泉となるコンテンツを活性化し、「オリジナルコンテンツの創造と育成」という、当社の企業戦略の実現に向けて大きく前進いたしました。そして、オリジナルコンテンツを活用した付加価値の高い商品開発、新規映像化という戦略事業展開の第一歩として、2008年1月からの(読売テレビ・日本テレビ系列全国29局ネット)、アニメ「ヤッターマン」の放映開始と同時に、タカラトミーグループは、玩具や玩具周辺事業におけるマスターライセンスとして、玩具だけではなく、ガチャ、ぬいぐるみ、玩菓など幅広い商品を展開し、グループ全体でシナジー効果を目指します。

『タイムボカンシリーズ ヤッターマン』は1977年1月1日に放送を開始したヒーローアニメ(全108話)で、黄金のありかを示すドクロストーンを巡り、正義の味方ヤッターマンと、3人の泥棒一味ドロンボー(ドロンジョ・トンスラー・ボヤッキー)が世界各地で争奪戦を繰り広げる、ギャグアニメの決定版です。当時の最高視聴率は28.4%を記録し、強烈な個性を持つ登場人物と、斬新なギャグで、子供から大人まで人気を博し、数々の名セリフを残すなど、社会現象にもなりました。そして、誕生30周年を迎え、旧作を見て育った世代が、ちょうど同じ年頃の子どもを持つ親の世代となった今、昭和の子どもたちを魅了した「ヤッターマン」は、『親と子が一緒に楽しめるアニメ』として、平成の世にタイムスリップしました。新アニメの制作はタツノコプロと読売テレビ放送株式会社(代表取締役社長：高田孝治)が担当し、総監督：笹川ひろし、メカニックデザイン：大河原邦男をはじめ、ストーリーの基本設定は、旧作の『タイムボカンシリーズ ヤッターマン』と変わらず、最大の特徴である“ギャグ”を現代風にリメイクいたしました。この30年間、決して色あせることのなかった、「ヤッターマン」に新たな息を吹き込み、変わらぬ価値を信じ、ふたつの世代をしっかりとつなぐ架け橋となる作品です。

タカラトミーグループから発売される商品展開も、アニメ同様、『親と子が一緒に楽しめる商品』をコンセプトに、3歳～9歳までの子どもをターゲットとした商品と、30代～40代までの大人をターゲットとした商品を展開してまいります。玩具展開のメイン商品として、アニメ放送開始後の2008年3月には、人気ナンバーワンメカ『ヤッターワン』のキャラクター玩具を、4月には、主人公『ヤッターマン』のけん玉の武器、『ケンダマジック』のスポーツ玩具を発売する予定です。(詳細下表参照)

	子ども向け商品		大人向け商品
	3～6歳ターゲット	6～9歳ターゲット	30代～40代
タカラトミー	<u>ヒーロフィギュア</u> (1月発売予定) <u>変身セット</u> (1月発売予定) <u>動物モチーフメカの</u> <u>キャラクター玩具</u> 『デラックスヤッターワン』 (3月発売予定)	<u>スポーツ玩具</u> けん玉玩具 『ケンダマジック』 (4月発売予定)	<u>コレクションフィギュア</u> <u>ギャグ、キャラクターを</u> <u>再現した雑貨類</u>
グループ会社	ガチャ、ぬいぐるみ、玩貨、アパレル、文具		

玩具ラインのメイン商品

「ヤッターマン」のコンテンツ展開は、アニメの新規映像化に留まらず、2009年春には、『ヤッターマン』の実写映画化(監督:三池崇史)が決定しております。製作を担当している日活株式会社(代表取締役社長:佐藤直樹)の親会社である、株式会社インデックス・ホールディングス(代表取締役社長:椿進)は、タカラトミーの筆頭株主でもあり、2006年10月に、タカラトミーが保有するタツノコプロの株の一部を取得しました。3社のメディア戦略、コンテンツ戦略強化の一環として、タツノコプロが持つコンテンツを日活(株)で映画化、同時に(株)インデックス・ホールディングスのさまざまなメディアで展開し、タカラトミーがタツノコプロコンテンツをオリジナルコンテンツと位置付け、それを活用した商品を開発するという、これまでにない連携による相乗効果を実現いたします。

タカラトミーは、今後拡大する、タツノコプロと連携したビジネスの第一歩として、2008年1月から、毎週月曜日7時に、読売テレビ・日本テレビ系列全国29局ネットにて放送を開始する、アニメ『ヤッターマン』に先駆け、玩具や玩具周辺事業におけるマスターライセンスとして、「ヤッターマン」の商品開発やコンテンツビジネスを展開し、「ヤッターマン」を、当社を代表する定番商品である「トミカ」・「プラレール」・「リカちゃん」に並ぶ規模のオリジナルコンテンツに拡大していきます。

《アニメ『ヤッターマン』概要》

【タイトル】『ヤッターマン』
 【企画/原案】(株)竜の子プロダクション
 【制作】読売テレビ/タツノコプロ
 【媒体】読売テレビ・日本テレビ系列全国29局ネット
 毎週月曜日 19:00～19:30
 2008年1月 放送開始



©タツノコプロ・読売テレビ 2008

新アニメ『ヤッターマン』のドロンジョ、ボヤッキー、トンズラー
画像は2008年1月から放送開始のアニメ『ヤッターマン』のものです。

〈報道各位から本件に関するお問い合わせ先〉

(株)タカラトミー 広報課 TEL:03 - 5654 - 1280 FAX:03 - 5654 - 1380

<http://www.takaratomy.co.jp/>

(株)竜の子プロダクション 公式HP <http://www.tatsunoko.co.jp/>